

「日本橋横山町・馬喰町エリア参画推進プログラム 2022」事業者募集開始！
～遊休不動産を活用しエリアを盛り上げる事業者を募集します～

日本橋横山町・馬喰町エリア参画推進プログラム（通称：さんかくプログラム）は、横山町馬喰町街づくり株式会社、UR都市機構、株式会社エンジョイワークスの三者が、日本橋横山町・馬喰町エリア（以下：「当エリア」）の遊休不動産を活用するアイデアのある事業者を広く募り、まちづくりに参画していただくことをサポートするプログラムです。

この度、昨年度に引き続き「日本橋横山町・馬喰町エリア参画推進プログラム 2022」の事業者エントリー受付を開始しましたので、お知らせいたします。

【さんかくプログラム概要】

◇求める事業者

地域を巻き込んだ事業づくりやエリアの活性化につながる事業を目指す者

◇活用していただく不動産

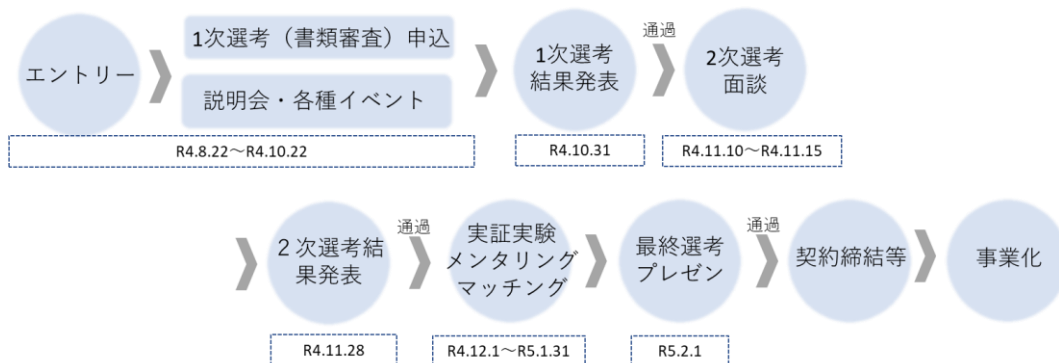
ショーウィンドウ・区画貸し・フロア貸し・1棟貸し

◇エントリー及び1次選考申込の受付期間

令和4年8月22日（月）～令和4年10月22日（土）まで

◇エントリー後の流れ

エントリー後、1次選考申込をしていただいた事業者を対象に、書類と面談による選考を実施し、通過した参加事業者の方には、専門知識を持つメンターによる個別アドバイスに加え、実証実験の場の提供、地域でのコミュニティ形成や情報発信など、事業化に向けた幅広いサポートを行います。



上記さんかくプログラムの趣旨を踏まえて、飲食店や店舗等の事業を行いたい方、当エリアに参画し、自らのサービスやアイデアを実現したい方は、令和4年10月22日までに下記HPよりエントリーの上、1次選考申込をお願いします。

◆さんかくプログラム 2022（外部ページ） <https://sankaku-nihonbashi.com>

令和4年8月31日までにエントリーいただくと当プログラムの説明会や街歩きイベント・事業者交流会など各種イベントにすべて参加することが可能です。（9月1日以降のエントリーとなった場合でも、エントリー後に開催されるイベントには参加可能です。）

【日本橋横山町・馬喰町エリア】



当エリアは、時代の変遷による商環境の変化により、利用可能な遊休不動産、遊休スペースが数多く残る一方、民間事業者によるマンション、ホテル等の開発が進み、エリアとしての特色や文化の継承が課題となっていました。UR都市機構は、当エリアにおいて、エリアの特色を尊重しつつ、潜在的な価値を発掘し、自律的なまちの更新につながる取り組みを横山町馬喰町街づくり株式会社と一体となって推進しております。

◆PRサイト：さんかく問屋街アップロード（外部ページ）<http://sankaku-tonya.tokyo>

○問合せ先

UR都市機構 東日本都市再生本部

都心業務部 事業推進第1課 （電話）03-5200-8605

総務部 総務課（広報担当） （電話）03-5323-0625

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・暮らしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



UR都市機構は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。